

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

- ・希望ヶ丘南地区は起伏に富んだ丘陵地で戸建ての住宅が多数を占めています。世代間のつながりも深く、住民の方は地域の学校の活動にも関心が高く活発に活動に参加しています。
- ・希望ヶ丘地区は相鉄線希望ヶ丘駅があり、駅周辺には商店街や飲食店、小売店があります。西側に集合住宅が多く東側には戸建て住宅が点在しています。福祉活動の事業所も数多くあるのが特徴です。
- ・28年度は生活支援体制整備事業が始まり、これまでよりも更に地域の方々が「住民主体で」課題を発見し、対策を講じるためのきっかけづくりになる為の活動をしました。27年度に取り組んだマップづくり等の活動を28年度に繋ぐことができたことは、事業に継続性を持たせる結果になったと考えます。
- ・障害児(者)、子ども、定年後の男性の活躍の場づくり等、この地域で優先して解決すべき課題を具体的な活動につなげることができました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・施設利用に関して、地域ケアプラザとして適正に利用していただくために、利用者説明会開催や、基準に則り公平に使用していただけるように対応致しました。不明な点は都度区役所に問い合わせ、対応致しました。
- ・設備の保守管理に関して、日常的な点検を施設管理者として実施致しました。
- ・設備の一部に関して、専門の業者と保守管理契約を結び管理を行いました。安全に関する指摘事項に関しては速やかに補修を行い安全に使用していただけるよう努めました。
- ・植栽の管理について専門の業者と管理契約を結び、緑の維持管理を行いました。ケアプラザが住宅街に位置しているため、景観を保ち、害虫等の駆除を行うよう努めました。

イ 効率的な運営への取組について

- ・法人内のメールシステムを活用し情報の伝達が短時間で正確に伝わるようにいたしました。
- ・労務、経理の事務処理については法人本部担当職員と連携をとり、業務の効率化に努めました。
- ・適正な職員配置をし、業務の効率化を図りサービスの安定に努めました。
- ・水光熱費の削減に努め、無駄なエネルギーの削減につながるよう努めました。

ウ 苦情受付体制について

- ・ ご意見ダイヤルの利用に関する情報を各階に掲示致しました。
- ・ 苦情解決の担当、解決責任者、対応の流れを館内に掲示致しました。
- ・ 第三者委員会の情報を館内に掲示致しました。
- ・ 苦情に対する対応を記録に残し、再発防止に努めました。
- ・ 利用者アンケート、登録団体説明会、ご要望については対応策を明確にし、ケアプラザ新聞に掲載し利用者に広く伝わるように対応致しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 事務所内に掲示してある緊急連絡網は、職員の異動、組織の変更がある都度作成し直し、常に最新のものを掲示するように対応致しました。
- ・ 機械警備により防犯業務を実施いたしました。発報時、入退館の記録を警備会社と共有しています。
- ・ 機械警備のセキュリティーキーは管理台帳で管理者を明確にして管理いたしました。紛失事故等の発生はありませんでした。
- ・ 日常の館内点検を実施し、記録に残しました。
- ・ 朝礼時に館の予定を共有することで、館内の様子を職員全員で把握するよう努めました。
- ・ 来館される方には挨拶、お声掛けを行い顔の見える関係づくりに努めました。

オ 事故防止への取組について

- ・ 日常設備点検、車両点検を実施し整備不良による事故を防止いたしました。
- ・ 事故発生後、または重大なヒヤリハット事案については法人内のリスクマネジメント委員会に報告し、原因と対策について共有しました。
- ・ 保守管理契約業者からの指摘事項については、速やかに修理を行い整備不良等による事故を未然に防止しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 職員に個人情報保護の研修を年間通じて2回実施いたしました。
- ・ 個人情報取扱業務一覧に基づき、適切に個人情報を取扱いました。
- ・ 介護予防支援事業、居宅介護支援事業、通所介護事業の利用契約時には同意を得、書面にて残しました。
- ・ 実習の受け入れについては、誓約書を取り、職員以外からの漏えいについて防止致しました。

キ 情報公開への取組について

- ・ 法人の事業計画書、事業報告書、予算書、決算書を窓口に設置し開館時はいつでも閲覧可能としました。
- ・ 毎月のケアプラザ新聞は掲示板に掲示し、常に最新の情報を掲示しました。また、横浜市関係機関からの掲示依頼物は速やかに館内掲示板に掲示しました。いずれの場合も期間を定めることにより新しい情報と古い情報が混在しないよう管理しました。
- ・ 介護予防支援事業利用者、通所介護事業利用者、居宅介護支援事業利用者の記録の開示請求に関する取扱いは契約時に説明し、情報の開示に応じる旨を説明いたしました。28年度開示請求はありませんでした。

ク 人権啓発への取組について

- ・ケアプラザ職員を対象に「権利擁護」「認知症」に対する研修を実施しました。
- ・地域活動交流部門は地域住民向けに「見た目にはわかりにくい障害について」のテーマで講座を開催しました。
- ・地域包括支援センターは「成年後見人制度」「消費者被害」「虐待」のテーマで講座を開催しました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ごみの処分に関して、ヨコハマ3R夢活動を推進し、マニフェストに沿って適正に処分いたしました。
- ・古紙の処分はリサイクルに出し、資源の再生に努めました。(個人情報の書類についてはこの限りではなく溶解処分いたしました)
- ・スマートクロックを使用することにより消費電力を可視化し、消費電力の削減、館内での電力の調整に努めました。また、啓発ポスターを館内に掲示し、階段使用の奨励、室温適正化を実施いたしました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 保健師等	1名（常勤兼務）
主任ケマネジャー	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤兼務）

《目標》

要支援1・2と認定された地域の高齢者に対し、介護予防ケアプランを作成しました。作成にあたっては、サービス利用後の生活がイメージできるよう、明確な目標設定を行うことにより行動意欲を高め、本人の主体性を尊重したケアプランの作成を行いました。

また委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所との連携及び支援を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合、その交通費（実費）を徴収します。平成28年度はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護予防支援対象者へのスムーズな介護予防プランの提案・サービス提供が行えるように支援体制を強化しました。また介護予防サービスが円滑に提供できるよう、事業所訪問などにより、介護予防事業者やインフォーマル活動団体との関係づくりを行いました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
176	178	178	178	171	169
10月	11月	12月	1月	2月	3月
170	176	175	177	178	184

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

● 管理者 1名（常勤兼務）

● 介護支援専門員

5名 H28年4月～H28年8月（常勤兼務1名、常勤専従3名、非常勤専従1名）

6名 H28年9月～H29年2月（常勤兼務1名、常勤専従4名、非常勤専従1名）

5名 H29年3月（常勤兼務1名、常勤専従3名、非常勤専従1名）

《目標》

- ・平成28年度新規契約53件
- ・地域に根付いた事業所として、新規利用者の68%を同地域包括支援センターとの連携により受けることができました。また、毎月の包括とのカンファレンスに加え、地域ケア会議への事例提出も行き、困難事例のケース対応も連携して行っています。年度を通し2名のケアマネジャーの入職もあり、人材育成のため各種の研修や勉強会にも参加し専門性の向上にも努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ・通常のサービス地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合のその交通費を徴収します。平成28年度はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ミーティングを毎日行い、ケアマネジャー間での情報共有を行いました。
- ・地域包括支援センターとのカンファレンスを毎月行い、地域における介護支援の状況報告と支援困難事例の対応策の検討を行いました。
- ・個人情報保護マニュアルを更新し個人情報漏洩防止に努めました。
- ・ケアマネジャー間で定期的にケースチェックを行い、帳票類の不備がないか確認を行いました。
- ・ケアマネジャー連絡会・研修会・勉強会に参加し専門性の向上に努めました。また、新任ケアマネジャーに対しては新任ケアマネジャー研修を行い、人材育成に取り組みました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
予防17 介護169	予防18 介護174	予防19 介護176	予防21 介護176	予防22 介護174	予防21 介護169
10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防22 介護166	予防22 介護164	予防20 介護156	予防24 介護150	予防26 介護154	予防24 介護151

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 送迎
- 個別機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（要介護1）	692	円
（要介護2）	817	円
（要介護3）	947	円
（要介護4）	1077	円
（要介護5）	1266	円
- 食費負担 650 円
- 入浴 54 円
- 個別機能訓練Ⅱ 60 円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》

- ・ 管理者 1名
- ・ 生活相談員 2名
- ・ 看護師 3名
- ・ 介護職員 13名

《目標》

地域の中の交流の場とし他者との関わりを持つ事で楽しみや生活意欲向上に繋がる様にサービスを提供致しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

毎日のプログラムはご利用者がご自由に選び参加して頂けます。トレーニングマシンや足浴器なども設置し機能訓練向上に取り組めるようにしました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
925	957	927	918	892	830
10月	11月	12月	1月	2月	3月
872	815	827	759	807	870

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 送迎
- 運動器機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 1766 円
 - （要支援2） 3621 円
- 食費負担 650 円
- おむつ代 50 円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》

- ・管理者 1名
- ・生活相談員 2名
- ・看護師 3名
- ・介護職員 13名

《目標》

多様化するニーズに対し地域・医療・介護が連携し、在宅生活の支えとなるデイサービスを目指しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

近隣の小学校の子供達との交流やイベント等で楽しんで頂き、リラックス効果の高い足浴器等を設置しご利用できるようにしました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
6	5	7	7	9	12
10月	11月	12月	1月	2月	3月
12	14	13	13	12	10

● 認知症対応型通所介護事業（実施しているケアプラザは記入）

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 送迎
- 食事

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 1072 円
 - （要介護2） 1188 円
 - （要介護3） 1305 円
 - （要介護4） 1422 円
 - （要介護5） 1539 円
- 食費負担 650 円
- おむつ代 50 円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》

- ・管理者 1名
- ・生活相談員 2名
- ・看護師 3名
- ・介護職員 13名

《目標》

多様化するニーズに対し地域・医療・介護が連携し、在宅生活の支えとなるデイサービスを目指しました

《その他（特徴的な取組、PR等）》

少人数で個々の状態、その方の症状など細かいニーズに対応し落ち着いてゆったりと過ごして頂けるよう対応しました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
99	94	89	90	106	112
10月	11月	12月	1月	2月	3月
129	116	104	80	81	85

● 認知症対応型介護予防通所介護事業（実施しているケアプラザは記入）

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 送迎
- 食事

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 927 円
 - （要支援2） 1036 円
- 食費負担 650 円
- おむつ代 50 円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》

- ・管理者 1名
- ・生活相談員 2名
- ・看護師 3名
- ・介護職員 13名

《目標》

地域の中の交流の場とし他者との関わりを持つ事で楽しみや生活意欲向上に繋がるサービスを提供致します。28年度は対象の方がいませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

要支援1・2の認定を受けている方で認知症と診断を受けたご利用者に対して認知症の進行の予防に効果的なプログラムを個別に提供致します。28年度は対象の方がいませんでした。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	0	0	0	0	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・地域の身近な総合相談の窓口であることを、ケアプラザ新聞を通じて周知をしました。地域の会議や関係機関の会議などでも、ケアプラザが高齢者の相談だけでなく、子育て・障害分野の対応もすることを広く周知しました。区や関係機関、民生委員や地域の方からの相談もあり、前年度より新規の相談件数が増加しました。
- ・子育て支援事業の中で、ケアプラザが子育ての相談窓口であることを周知し、ケアプラザで受けた相談について、区こども家庭支援課と情報共有を行い連携を図りました。
- ・ケアプラザで受けた障害の相談について、区の障害者支援担当や旭区基幹相談支援センターと連携し支援を行い、必要に応じてケースカンファレンスを行い継続的な支援を行いました。
- ・地域の総合相談窓口として、地域から上がる相談に広く対応し、適切な支援に繋ぎ必要に応じて継続的に支援を行いました。また職場内での相談内容と支援内容の共有を図りました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- ・月1回所内で会議を開催し、双方が把握した課題に対して情報共有をして、それぞれの専門性を活かしながら地域支援を行いました。
- ・ケアプラザで取組事業を双方で確認しながら、地域への周知や運営の協力を努め、課題や目標を共有しました。

3 職員体制・育成

- ・指定管理者として横浜市配置基準を満たす職員を欠員なく配置することができました。
- ・外部研修への積極的な参加を促し、職員全体で延べ33回の外部研修に参加しました。研修受講報告書をケアプラザ内で共有しました。
- ・内部研修は予定通り実施し、個人情報保護2回、権利擁護1回を含む計11回を実施しました。
- ・職員個々のワークライフバランスに配慮し、勤務の調整等チームでの管理ができる体制づくりに努めました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ・地域の各種団体の定期会合や行事に積極的に出向き、地域の状況把握や地域課題の把握に努め、また身近な相談機関として、各種団体の地域福祉活動に対し積極的に関わり、支援を行いました。
- ・支えあい連絡会では、地域住民と行政と連携し協働して、第3期地域福祉保健計画の地区別計画の推進に取り組みました。
希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会共催事業「きぼうファーム」を立ち上げ、両地区の代表者からなる代表者会議を年5回開催し、新たなネットワークづくりの構築を行いました。代表者会議のメンバーを中心に、障害児余暇支援事業を年4回と保護者交流会を開催し、障害理解啓発を目的とした講座や当事者講演会を2月に開催しました。
- ・旭区自立支援協議会のメンバーとして、障害分野でのさらなるネットワークの構築に努めました。今年度より、子ども連絡会と相談連絡会にもメンバーとして入り、区内にあ

る放課後等デイサービス事業所とのネットワークづくりに努めました。相談連絡会では、ケアプラザで実際に関わっている精神障害のある方の事例を発表し、より身近な地域にあるケアプラザでの関わりや見守りについて日ごろ相談支援に従事している相談機関に知っていただく機会となりました。

また今年度も希望が丘地区では、地域の代表者と地域にある障害事業所が参加するつながろうプロジェクト南希 CP エリア地域連絡会を年3回開催し、災害時や地域生活での課題共有や意見交換を行いました。連絡会開催をきっかけに、地域の防災訓練に、障害事業所の利用者の方も初めて参加することができました。

5 区行政との協働

- ・子どもに関わる様々な事業で、こども家庭支援課と連携を図りました。子育てサロンmam-mamでは、地区担当の保健師と連携し発達相談や育児相談等で子育て支援に協働で取り組みました。Dandy kitchen～ふれあい子ども食堂～では、企画立案の段階でケースワーカーからアドバイスをもらい、参考にして事業を実施しました。またこども家庭支援課や生活支援課が把握している、見守りや地域とのつながりが必要な家庭に個別に区の担当者から案内を渡してもらい、連携を図りながら事業を開催しました。
- ・支えあい連絡会では、支援チームのメンバーとして区や区社協と連携し地域課題の把握や情報提供に努めました。きぼうファームでは支援チームとして協働して後方支援に努めました。
- ・障害者支援において、担当のケースワーカーと情報共有を行い協働して個別支援を行いました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・自治会や各種福祉保健活動団体の定期会合や行事に積極的に足を運び、情報収集を行い地域の状況把握や課題把握に努めました。
- ・地域における福祉保健活動団体や社会資源を把握し、情報提供を行いました。
- ・ケアプラザの設置目的や機能、ケアプラザの事業などの周知を積極的に行いました。
- ・地域課題解決のための情報提供を行い、必要に応じて区や関係機関と連携し支援を行いました。
- ・施設利用団体の活動紹介を館内に掲示し、広く情報提供を行いました。また登録団体説明会や年末大掃除会の中で、利用団体の交流会を行い、情報交換や交流の場を設け、いただいたご意見はケアプラザ新聞で紹介しました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・登録団体説明会や年末大掃除会の中でご意見を伺う機会を設け、ケアプラザ利用に対する率直なご意見をいただき、よりご利用しやすい環境整備に努めました。また緊急時の避難経路や館内の消火器の設置場所についての説明を行い、緊急時の対応について周知を行いました。
- ・館内と外の掲示板にて、2か月分の貸室予約状況をカレンダー形式で掲示をし、貸室の予約状況についての情報提供を行いました。
- ・登録団体が福祉保健活動に積極的に参加できるよう、ケアプラザの自主事業でのボランティア活動や地域活動につながるよう情報提供を行い、活動の場のコーディネートを行いました。

3 自主企画事業

- ・地域における障害児者支援事業「きぼうファーム」を新たに立ち上げ、地域と協働して事業を行い、地域の障害児者支援・障害理解に取組みました。
- ・旭区内のケアプラザにて、更に広く障害児者支援事業を推進するために、川井地域ケアプラザ・笹野台地域ケアプラザの3ケアプラザ合同で企画し、障害児余暇支援事業「なつっこスマイル」を実施しました。南希望が丘地域ケアプラザの参加者やボランティアは、他の地域の子どもたちやボランティアとの交流を図ることができました。
- ・子育てサロン mam-mam の他、パパを対象とした「パパといっしょにあそぼう」を年6回開催し、子育て支援事業の充実を図り、子育て世代への支援とケアプラザの機能の周知に努めました。
- ・定年退職後の男性を対象にした事業「ダンディキッチン」「ダンディパティシエ」の事業の活動の一環として、参加者が福祉保健活動・地域貢献に参加する目的と、地域の課題である子どもの居場所を支援する目的で「Dandy Kitchen～ふれあい子ども食堂～」を新規事業として9月より奇数月に開催しました。地域の学校に協力をしていただき、各家庭に案内を配布し、4回の開催で延べ281名が参加しました。地域の中でもケアプラザでの取組が浸透し、民生委員さんが様子を見に来たり、地域の方が配膳のボランティアに参加され、広くボランティア活動の場の提供も行いました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ケアプラザの事業からボランティア活動につながるような仕組みを作り、ボランティアの育成に努めました。Dandy Kitchen～ふれあい子ども食堂～では、定年退職後の地域の男性がボランティア活動を行いました。
- ・ケアプラザ新聞を通じて、ボランティア活動の情報提供を行い、今年度新たに7名の方がきぼうファーム菜園ボランティアとして活動しました。
- ・登録団体や地域の団体に対して、ケアプラザの自主事業やデイサービス慰問などでのボランティア活動の場の提供を行い、ボランティア活動をしていただきました。
- ・よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会と活動の場の提供を行い、65歳以上の地域の方のボランティア活動の支援を行いました。
- ・ジュニアボランティアへの福祉教育や活動の場の提供を行いました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ・個別の相談を通して、相談内容を分析し、ケースに合わせた対応に努め、新たなネットワーク構築に努めました。
- ・民生委員の定例会や老人会などに参加し、情報交換、意見交換等を行って民生委員や関係機関との連携を図り、相談支援に反映しました。
- ・閉じこもり予防のミニデイサービスや介護予防事業の参加者、個別の相談から必要に応じて介護保険の移行など、継続的なフォローをしました。
- ・3職種が共有できるように連携ノートを活用して情報の共有をはかりました。

地域包括支援ネットワークの構築

- ・個別の相談ケースを通して、相談内容を分析し、相談ケースに合わせて新たなネットワークの構築に努めました。
 - ・引き続き、閉じこもりの防止及びボランティア育成を兼ねた「ミニデイサービス（ミニデイ）」を行いました。
 - ・今年度、「介護者の集い」は昨年度とは違い、従来通りケアプラザにて奇数月の第2水曜日に同じ時間・同じ場所にての開催を心がけて行いました。介護で辛い思いをしている方などの情報をケアマネジャーより受け、参加の声掛けをし、周知を行いました。
- 新規介護者メンバーが参加することにより、介護者同士での関係を構築することができました。それにより、地域包括支援センター職員からの投げかけよりも、介護者同士での話し合いの時間が増えてきており、介護者同士での介護の悩みや情報を共有する場を設けることができました。

実態把握

- ・「認知症をみんなで支えるまちづくり検討会」（包括レベル地域ケア会議）を実施し、地域の各関係団体の方々とフォーマル・インフォーマルサービスをエリアのマップに落とし込み、地域活動の実態把握を行いました。
- ・出張講座や地域包括支援センター事業実施後にアンケート調査を実施し、高齢者の個別ニーズ、圏域の実態把握に努めました。

2 権利擁護

権利擁護

- ・今年度は権利擁護シリーズとして講座を連続化して実施しました。
- ・成年後見制度の普及啓発として、旭区社会福祉協議会、万騎が原地域ケアプラザと協働して「成年後見制度講演会」を秋に実施しました。
- ・3月に旭区内地域包括支援センターと協働で消費者被害の街頭キャンペーンを三ツ境駅、鶴ヶ峰駅にて実施しました。
- ・終活や相続、お墓についての講座を開催し、旭区初のエンディングノートについての講座・講演会を開催しました。また、「自分を知る、今までの自分を振り返る」をテ

一マに今年度初めて「自分史講座」を開催しました。

高齢者虐待

- ・虐待事例に対して、区役所担当者とカンファレンスを定期的に実施しました。長男が母親を病院から自宅に戻したいというケースについて、退院後の在宅生活が母親、長男の双方にとって負担がかからない関係づくりを支援していきました。
- ・「介護者の集い」を開催し、虐待の恐れのある介護者を発見することを目標にしていましたが、現状は可能性がなく、今後も防止に取り組んでいきます。
- ・区内版高齢者虐待対応フォロー図を事務所内に掲示し、いつでも閲覧できる所に置き活用していきます。
- ・旭区社会福祉士分科会での研修を通じて、虐待の意識を向上し、意識付けを習得することができました。
- ・虐待防止に向けて毎月区とのカンファレンスの際に虐待の疑いがあるケースを相談していき、区と連携して虐待防止に努めてきました。

認知症

- ・地域住民を対象に成年後見制度講座と認知症予防講演会を1つにしたイベントを開催しました。また、夏休みに小学5.6年生を対象としたジュニアボランティア講座を実施した際に認知症サポーター養成講座を行い、認知症について幅広い普及啓発を行いました。
- ・旭区キャラバンメイトひまわりの会と共催して、認知症サポーター養成講座を開催しました。
- ・「認知症をみんなで支えるまちづくり検討会」では、地域の見守りシステムを目に見える形にした地域見守りマップづくりを行いました。
- ・SOSネットワークシステムを案内し、登録手続きをサポートしていきました。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ・要支援者の自発的な取り組みに繋がるよう目標を立て、意欲が引き出せるような支援に努めました。
- ・委託ケースでは、担当ケアマネジャーと連携をとり、積極的にカンファレンスに参加し、介護予防の必要性について普及啓発を行いました。
- ・当地域包括支援センター独自の南希ケアマネ連絡会を（年8回）開催し、訪問介護、訪問看護、通所介護事業所等との交流会や相談援助技術に関する研修、介護予防・総合事業に関する勉強会等を行いました。
- ・万騎が原・今宿ブロック共催のケアマネジャー事業所連絡会（年4回）を開催し、研修会や勉強会を開催しました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・インフォーマルサービスなどの情報収集の更新、一覧の更新作成を行い、地域住民、関係機関などに対して情報提供を行いました。また、「介護保険制度講座 2016」を地域住民向けに行い、制度の周知啓発に努めました。
- ・「認知症をみんなで支えるまちづくり検討会」（包括圏域地域ケア会議）を継続実施し、地域の民生委員、保健活動推進員、老人会、ボランティア団体、地域のコミュニティカフェ等の関係者と認知症の方やその家族を地域で支える仕組みづくりとして、皆様と一緒に考える場づくりに向け（とっかかりとして認知症カフェの立ち上げ等）認知症に関する講演会や講座を、生活支援コーディネーターと一緒に開催し、話し合いを行いました。
- ・地区の民生委員や見守りの会等の会に参加し、地域での見守りネットワーク事業に積極的に関わりました。
- ・ひとり暮らし高齢者見守り事業を地区の民生委員、区役所と協働し、実態把握に努めました。

医療・介護の連携推進支援

- ・ケアマネ事業所連絡会にて「かかりつけ薬剤師について」をテーマに近隣の薬剤師を招き、ネットワーク構築のための意見交換、研修会を行いました。
- ・エリア内の医療機関を個別に訪問し関係づくりに努めました。
- ・連絡票などを活用し、医師との連携、総合相談の支援を行いました。また、エリア内の医師との「南希望が丘地域医療連絡会」を開催し、個別ケース地域ケア会議等を行いました。
- ・エリア内のキーになる医師との関係ができているため、緊急時の対応や早期の対応がスムーズに行え、連携がうまくとれています。
- ・毎月、ケアプラザの広報誌を持参し、医療機関、薬局等を訪問し連携を図りました。
- ・施設協力医に「介護者の集い」に毎回参加してもらい、適宜話し合いをもち、ケースについての相談も行い、連携に努めました。また、月に2回医療相談会を開催し、地域の方の相談する場を提供しました。

ケアマネジャー支援

- ・毎月、地域包括支援センターとケアマネジャーとの連絡会、カンファレンス等を開催しました。
- ・ケアプラザ独自で地域包括支援センターエリア内の「南希ケアマネ連絡会」を開催し、4月にケアマネジャー同士の交流会、5月に訪問介護事業所との交流会、7月と11月に相談援助技術についての勉強会、10月に通所介護事業所との交流会、1月に介護予防ケアマネジメント・総合事業に関する研修会、2月に民生委員との交流会、3月に訪問看護事業所との交流会を実施しました。
- ・3地域包括支援センター（南希望が丘、今宿、万騎が原）共催で年4回、6月に薬局薬剤師を招き、訪問薬剤師・居宅療養管理の現状について学び、9月に横浜市障害者後見的支援制度について、制度の理解を深め、12月に精神保健福祉士を招き「心の病をもった方とのかかわり方について」というテーマで、高齢者に多い精神疾患について、また患者さんとの関わり方について学び、2月に事例検討、インフォーマルサービスの情報提供を行いました。
- ・旭区内地域包括支援センター主任ケアマネジャーと区役所と共催で年2回、新任・就労予定ケアマネジャー研修を開催、研修会、施設見学や個別実習の受け入れ等行いました。
- ・旭ケアマネット研修会の企画協力、運営の支援、研修会の参加、ファシリテーター協力等行いました。
- ・適宜ケアマネジャー相談支援、支援困難事例の相談支援、カンファレンスの開催支援等を行いました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・個別ケースの地域ケア会議を6月、9月、12月、3月の4回（うち3回は認知症の親と独身長男家庭のケース、残りの1回は認知症高齢夫婦のケース）を実施し、多職種と協働し事例を通して課題解決に向けた支援をしていけるよう開催しました。
- ・また、「認知症をみんなで支えるまちづくり検討会」を7月と2月に開催し、認知症高齢者等を見守っている地域の各種関係団体と、認知症の方やその家族を地域で支える仕組みづくりを考える、包括圏域地域ケア会議を開催しました。地域資源の情報収集と課題整理、今後地域で必要になると考えられる地域診断に沿った、住民主体のまちづくりを目指して、見守りネットワークの構築、見守り活動の拠点づくりに向けて、行いました。

5 介護予防事業

介護予防事業

- ・平成25年度に立ち上った横浜市介護予防事業「元気づくりステーション南希の森」および、平成27年度に立ち上った「元気づくりステーションヒルズのわ」の支援を継続して実施しました。平成28年度希望が丘中地区に新しく「元気づくりステーションホープの友」を立ち上げることができました。元気づくりステーションの意義を地域の皆さんへ説明させていただき、老人会や保健活動推進員の皆さん、民生委員さん、自治会役員の皆様の協力をいただき準備講座から実施し立ち上げることができました。地域主導の形で進め、住民主体の通いの場となる事ができました。今後も継続支援していきます。
- ・新しく元気づくりステーションを立ち上げたいとの地域からの声を受け、区の担当保健師とともに打ち合わせに参加し、住民主体の通いの場の立ち上げ支援に努めました。
- ・平成25年度に立ち上げた介護予防に資するボランティアグループ「シニアサポーターひまわり」の育成と拡大を目指し、1ヶ所のデイサービスへの慰問を実施しました。また、ケアプラザで行われている「ふらっとサロン」での活動への展開に向けて、準備を行っています。
- ・地域の自主活動グループを把握し旭区元気づくりマップ作成を行うとともに、地域の介護支援専門員等へ紹介し、インフォーマルサービスとして活用できるよう案内しました。

6 生活支援体制整備事業

ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

- ・区役所、地域包括支援センター、地域活動交流などで把握している情報をもとに、新しい地域資源情報リストの作成に努めました。介護予防事業の「元気づくりマップ」の作成と生活支援体制整備事業の「地域資源情報リスト」の両方のリストを網羅できるアンケートを作成し、各団体に記入してもらい、それをもとに両リストを作成しました。
- ・老人会を回り、生活支援体制整備事業について説明し、周知活動を行うとともに、会の活動内容や活動時の困りごと、生活時の困りごとなどの把握に努めました。
- ・生活支援ボランティアを行っている団体の定例会や活動に参加し、地域の生活支援のニーズの把握に努めました。
- ・連合自治会に所属していない地域や自治会に働きかけ、出張講座を行い、その後、ケアプラザ新聞配布などの繋がりをもつことができました。
- ・地域の商店会に働きかけ、行事に参加する等して、繋がりが持てるよう努めました。

圏域レベルの協議体の設置・開催

- ・「認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して」をテーマに、圏域全体の地域の方を対象に全3回の勉強会（認知症予防、成年後見制度、家族の方の話、認知症サポーター養成講座、認知症カフェ、SOSネットワーク等（2回のグループワーク含む））を開催し、参加者の中から有志をつのり、認知症の方や家族の方に対して地域で何ができるかを考え、実現するための「きぼうタウンプロジェクト」（協議体）を設置しました。まずはエリア内に2か所認知症カフェの立上げを目指し、地域住民、ケアマネジャー、薬局、キャラバンメイト、旭区役所、旭区社会福祉協議会、地域ケアプラザなどを協議体のメンバーとし、3月に第1回目を開催しました。平成29年9月カフェオープンを目指し、月一回程度会を開催していきます。
- ・元気づくりステーションや老人会、サロンなどの横の情報共有、横の繋がりの強化を目指し「老人会・元気づくりステーション連絡会」と題して協議体を設置するため、各団体の代表へ主旨の説明と各団体の課題についての簡単なアンケートを実施しました。他の団体と話し合いの場を持つことで課題解決のヒントを得ることを目的とし、平成29年4月に1回目を開催します。

圏域レベルの目標・取組事項の設定

- ・ケアプラザ、区、区社協などの既存の情報と半年間新たに調べた情報から、今後の人口推移や交通環境、また地域のニーズから、当面の課題を抽出し、5つの柱（周知、生活支援、担い手、認知症、介護予防）を設定しました。各柱の具体的な目標（1つの柱に4～5）を立て、実際行ったアクション、現状、今後の課題を抽出し、できるところから進めています。この内容をわかりやすく可視化するため、「生活支援体制整備事業やりたいことリスト」を作成し、ケアプラザ、区、区社協と共有をしています。また、地域福祉保健計画にあった活動がある場合、地域の方に働きかけ、活動に参加してもらいました。

具体的な取組事項への着手

- ・（周知）老人会やボランティア団体などの活動に参加し、地域説明用の紙芝居を作成し、生活支援体制整備事業について広く住民の方々へ活動の理解を求めました。あわせて、地域の方たちとの信頼関係の構築に努めました。訪問した団体の活動内容をケアプラザ新聞に掲載し、地域活動の意欲を引き出せるよう努めました。
- ・（生活支援）エリア内の要支援者の状況を把握するため、地域包括支援センター及び委託事業所のケアマネジャーに協力してもらい、アンケート調査を実施しました。同時にエリア内ケアマネジャーに生活体制整備事業の説明を行いました。アンケート結果で、支援ニーズや担い手に側に回ることが可能かどうかを把握していきます。
- ・（担い手・介護予防）既存の元気づくりステーションや、老人会などで歌の伴奏、体操、健康吹き矢などで活躍されている方に新しく立ち上がった元気づくりステーションや自主事業などに参加してもらい、その方たちの「いきがづくり」となれるよう支援しました。様々な集いの中で、会の中で歌を歌う団体が多いことから、歌の伴奏をしていただいた方は、今後も活動の場を広げていけるよう、音楽療法などについて学びながら、「音楽ボランティア」を立上げ、地域の老人会や介護・医療施設、サロンや認知症カフェなどでの活躍の場を提供していきます。また、新たな介護予防の担い手として「スクエアステップリーダー講座（全5回）」を企画し、第1回目を3月に開催しました。講座終了後、広く地域に広め、担い手として活躍していただく予定です。両ボランティアにはシニアポイントへの登録の案内も同時に行っていきます。
- ・（認知症）「きぼうタウンプロジェクト」の推進を行いました。また、ほっとちゃん協賛店への継続・加入の呼びかけを行ったことで、企業向けの認知症サポーター養成講座に繋げることができました。

7 その他

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	18,703	23,065	149					5,789
	介護保険収入				3,847	26,155	124,441	4,427	0
	その他	0	0	0	292	959	7,670	0	0
	介護予防ケアマネジメント費								
	受諾収益収入				291	959			
	受取利息配当金収入				1		1		
	借入金利息収入						229		
	職員給食費、雑収入						1,206		
	施設整備補助金収入						2,310		
	補助金、寄付金収入						197		
繰入金収入						3,727			
収入合計(A)	18,703	23,065	149	4,139	27,114	132,111	4,427	5,789	
支出	人件費	10,257	21,223			23,076	94,407	3,163	3,237
	事務費	2,376	1,608		180	1,165	6,778	227	
	事業費	185	600	149		72	17,269	577	279
	管理費	3,624	787						
	その他	820	0	0	3,153	1,000	8,323	346	0
	退給引当資産						139	4	
	利息						332	10	
	元金償還						7,790	330	
	固定資産取得						62	2	
	繰入金支出				3,153	1,000			
消費税	820								
運営協議会									
支出合計(B)	17,262	24,218	149	3,333	25,313	126,777	4,313	3,516	
収支 (A) - (B)	1,441	-1,153	0	806	1,801	5,334	114	2,273	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

(単位:円)

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
歌声喫茶	地域住民	112,771	71	112,771	93,540	108	19,123
	1,053人						
	100円(1回)						
ふらっとサロン	地域住民	91,111	151	90,960	0	2,406	88,705
	411人						
	200円程度						
ゆったり体操教室	高齢者	146,612	9,812	136,800	133,064	0	13,548
	338人						
	400円(1回)						
子育てサロンmam-mam	0歳児～未就園児	17,394	3,994	13,400	2,000	432	14,962
	136組311人						
	100円(1回)						
ガーデニング教室 Happy Garden	地域住民	77,506	10,406	67,100	20,000	51,906	5,600
	59人						
	200円別途材料費						
男性の料理教室 ダンディキッチン	地域の男性	42,496	9,496	33,000	16,000	26,172	324
	34人						
	900円(1回)						
男性のお菓子教室 ダンディパティシエ	地域の男性	30,561	361	30,200	10,000	13,981	6,580
	27人						
	600円(1回)						
登録団体説明会	登録団体	0	0	0	0	0	0
	129人						
	無料						
宿題応援隊	小学生	24,720	7,720	17,000	6,000	12,000	6,720
	23人						
	1,000円						
親子ふれあい教室 ハッピー父親育児	地域の親子	0	0	0	0	0	0
	5人						
	無料						
パパといっしょにあそぼう	地域の親子	15,165	10,065	5,100	3,000	9,149	3,016
	32組71人						
	100円(別途材料費)						
ケアプラザ祭り	地域住民	92,633	24,543	68,090	5,000	81,333	6,300
	560人						
	200円程度						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
エコぞうり教室	地域住民	0	0	0	0	0	0
	12人						
	無料						
年末みんなで大掃除会	施設利用団体	1272	1272	0	0	432	840
	35人						
	無料						
ボランティアの集い	ボランティア	3,986	3,986	0	0	0	3986
	24人						
	無料						
3ヶアプラザ合同 障害児余暇支援事業 なっつこスマイル	障害児者	11,000	2,750	8,250	0	8,060	2,940
	55人						
	1,500円						
きぼうファーム (参加収入等、収支については きぼうファームで管理)	障害児	0	0	0	0	0	0
	421人						
	300円						
さわやかクローバークラブ	障害児	3,560	3,060	500	0	3,000	560
	5人						
	100円						
Dandy Kitchen ふれあい子ども食堂	地域の小学生	94,149	60,899	33,250	0	67,549	26,600
	281人						
	100円						
希望が丘南地区 ジュニアボランティア 講座	小学生	0	0	0	0	0	0
	12人						
	なし						
よこはま シニアボランティアポイント 研修会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	7人						
	なし						
俺の講座 年3回	高齢者	32,278	28,678	3,600	25,023	5,575	1,680
	35人						
	300円						
ロコモ予防大作戦①in南希CP 年2回	高齢者	24,012	24,012	0	22,023	1,429	560
	21人						
	無料						
スローエアロピクス 年1回	高齢者	840	840	0	0	0	840
	27人						
	無料						
日常生活に困らない体づくり教室 年6回	高齢者	26,295	26,295	0	15,000	5,695	5,600
	159人						
	無料						
老人会・長寿会 健康チェック	高齢者	0	0	0	0	0	0
	32人						
	無料						
女性のための健康セミナー	高齢者	33,776	29,576	4,200	23,800	8,856	1,120
	38人						
	300円						

平成28年度 自主事業収支報告書

ロコモ予防大作戦②in南希CP	高齢者						
	36人	36,246	36,246	0	22,023	13,523	700
	無料						
ミ・デイ	高齢者						
	194人	47,453	11,453	36,000	2,000	44,333	1,120
	200円(ホラ100円)						
介護者の集い	地域住民						
	42人	0	0	0	0	0	0
	無料						
介護保険制度講座～2016～	地域住民						
	18人	10,023	10,023	0	10,023	0	0
	無料						
権利擁護シリーズ・古い支度 「自分史講座」	地域住民						
	8人	5,568	5,568	0	5,568	0	0
	無料						
権利擁護シリーズ・古い支度 「エンディングノート」	地域住民						
	12人	6,682	6,682	0	6,682	0	0
	無料						
権利擁護シリーズ・古い支度 「住み慣れた地域で暮らす」	地域住民						
	23人	13,364	13,364	0	13,364	0	0
	無料						
成年後見制度講座	地域住民						
	7人	0	0	0	0	0	0
	無料						
権利擁護シリーズ 消費者生活講座	街頭キャンペーン						
	150人	0	0	0	0	0	0
	無料						
権利擁護シリーズ・古い支度 「自分らしい旅立ち」	地域住民						
	7人	6,682	6,682	0	6,682	0	0
	無料						
認知症サポーター養成講座	地域住民						
	95人	0	0	0	0	0	0
	無料						
認知症をみんなで支える まちづくり検討会	地域住民						
	32人	3,096	3,096	0	0	0	3,096
	無料						
認知症になっても安心して 暮らせるまちをめざして (認知症について考える2016も含む)	地域住民						
	102人	42,645	42,645	0	42,321	324	0
	無料						
きぼうタウンプロジェクト	地域住民						
	24人	13,676	13,676	0	0	13,676	0
	無料						
シニアサポーターひまわり	地域住民						
	72人	6,040	6,040	0	0	0	6,040
	無料						
スクエアステップ リーダー講座	地域住民						
	25人	111,616	111,616	0	21,600	27,928	62,088
	無料						

平成28年度 自主事業報告書

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌声喫茶	地域住民（主に中高年）を対象に、歌を歌うことでの健康増進を目的として開催しました。参加者に事業の準備や片づけを呼びかけ、参加者皆で会を運営していけるよう事業を進めていきました。28年度4月より、開始時間を10時30分から10時に変更しました。	第1土曜日 10時～12時 年間12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふらっとサロン	地域住民（主に高齢者）の交流の場の提供と、ボランティア活動の場を提供する目的で開催しました。散歩の途中に気軽にふらっと寄っていただけるよう、ケアプラザ新聞やチラシ等で開催日の告知を行いました。第2日曜日は、午前中に男性のお菓子教室を開催し、参加者にお菓子作りとサロンでのボランティア活動をしていただきました。第4日曜日は引き続き、午前中に開催しているマーガレットケーキ教室にお菓子の提供とサロンでのボランティア活動をお願いしました。	第2第4日曜日 13時～ 15時30分 年間24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆったり体操教室	既存の体操教室に参加が難しい高齢者を対象に介護予防を目的とした体操教室を開催しました。イスに座って、セラバンドやゴムボールを使用した体操を60分、カードや輪投げなどのレクリエーションやゲームを30分行いました。	第2第4水曜日 10時～ 11時30分 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロン mam-mam	0歳児から未就園児の親子を対象に親子交流サロンを開催しました。前半はフリースペースとして、後半はママのヨガ教室を開催しました。季節に応じたイベントや行政との共催事業なども行いました。また地域の子育て経験者にボランティアを呼びかけ、活動の場の提供を行いました。	第1木曜日 10時～ 11時30分 年11回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ガーデニング 教室 Happy Garden	新たに新規参加者を募集し開催しました。園芸をすることによる健康増進を目的に行いました。事業の中でケアプラザの庭の草花の植え込みや手入れを行っていただくことで、園芸ボランティア育成も行いました。28年度はハーブや観葉植物を中心に行い、ケアプラザ館内の植物の管理も事業の中で行いました。第4火曜日の10時から、園芸ボランティアの日と決めて、ケアプラザの敷地内の植物の手入れを行いました。	第2木曜日 10時～ 11時30分 年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性の料理教室 ダンディ キッチン	地域の男性を対象に、男性同士の交流の場の提供と、夜間帯の貸室稼働率アップを図りました。講師は旭区ヘルスマイトに依頼をしました。買い物や片づけなど、参加者が主体的に参加できるよう支援を行いました。28年度は、事業の中で福祉活動を行いました。	第3木曜日 16時～ 18時30分 年8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のお菓子 教室 ダンディ パティシエ	地域の男性を対象に季節のお菓子作りを行いました。ふらっとサロンの前に開催し、サロンのお菓子の製作の他、サロン運営のボランティア活動も行いました。	偶数月 第2日曜日 年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体説明会	ケアプラザを利用されている団体向けに、貸室の申込みや利用方法、緊急時避難経路について説明を行いました。また会の最後には、日ごろ利用されている皆さんからご意見を伺う時間を設けました。	5月31日 12月19日 年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
宿題応援隊	子育て支援の一環として夏休みの自由研究の題材提供や冬休みの書き初めの宿題の応援をしました。午前中に子ども料理教室を行い、午後に宿題応援隊を開催しました。1日を通して行うことで、小学生の長期休みの余暇支援をしました。	7月27日 12月26日 年2回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子ふれあい教室 ハッピー父親育児	父親に積極的に家事や子育てに関わってもらえるよう事業を実施しました。またパパ同士の交流を図り、地域でのつながりを深めていただきました。地域の0歳児から未就園児の父親を対象に、横浜市イクメンスクール3期生伊藤尋丈さんを講師に迎え、父親育児の楽しさと重要性、ワークライフバランスの講座を開催しました。パパの座談会も行いました。	1月28日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパといっしょにあそぼう	0歳児から未就園児の父子を対象に、親子のふれあいやパパ同士の交流を図りました。親子体操・廃材遊び・プール・料理教室などを行いました。	偶数月 第1日曜日 10時～ 11時30分 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ祭り	日ごろの感謝の気持ちを込めて、地域住民との交流の場として開催しました。介護相談・体力測定、子ども向けのコーナー、飲食販売コーナー、地域作業所の販売コーナー、ステージ発表等を設けました。地域のジュニアボランティアや登録団体にボランティアを依頼し、ボランティア活動の場の提供も行いました。	1月3日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エコぞうり教室	不要になった浴衣を再利用することにより環境にやさしく、健康的な生活への認識を高めていただきました。資源循環局の職員と地域住民の交流を図りました。	1月25日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年末みんなで大掃除会	2階交流スペースを利用されている団体に案内をして、福祉保健活動の一環として使用している部屋の清掃をしていただきました。	12月27日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアの集い	ケアプラザで活動をされているボランティアを対象に、ボランティア同士の交流の場の提供と、情報交換や意見交換を行いました。またデイサービスや地域包括支援センターの職員にも参加してもらい、ボランティアとの交流を図りました。	3月29日 年1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
3 ケアプラザ合同障害児余暇支援事業 なつっこ スマイル	南希望が丘・笹野台・川井地域ケアプラザ合同で学齢障害児余暇支援事業を行いました。各ケアプラザエリアで参加者とボランティアを募り、参加者の交流を図りました。7月は川井地域ケアプラザ、8月は笹野台地域ケアプラザの会場で開催しました。	7月25日 8月20日 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さわやかクロール バークラブ	きぼうファーム保護者交流会開催時の、お子さんの預かりとして実施しました。障害事業所に講師としてきてもらい、パン教室を開催しました。	3月11日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Dandy Kitchen ふれあい子ども 食堂	学校以外での子どもの居場所の提供を行いました。地域でのつながりをつくりました。社会資源の開発。子どもの居場所の支援として、子ども食堂を開催しました。調理や準備はケアプラザで活動しているダンディヨガ、ダンディキッチン、ダンディパティシエの男性の方にボランティアをお願いしました。食事の提供までの時間は、宿題などを持参してもらいボランティアによる学習支援も行いました。	9月15日 11月10日 1月12日 3月9日 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
希望が丘南地区 ジュニアボラン ティア講座	福祉についてを地域活動交流コーディネーターから、障害者についてをサポートセンター連の職員の方から、高齢者についてを地域包括支援センターの社会福祉士から話をしました。その後2つのグループに分かれて、車イス体験と疑似体験を行いました。	8月4日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きぼうファーム	希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会、第3期地域福祉保健計画の取組の一つとして、障害児余暇支援事業を行いました。障害のあるお子さんのご家庭と地域とのつながりや、顔の見える関係づくりを行い日頃から地域での穏やかな見守りにつなげました。菜園活動を通じて、交流を図りました。	5月14日 6月11日 9月18日 11月26日 2月3日 2月18日 3月11日 他 年13回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニア ボランティアポ イント登録 研修会	65歳以上の方を対象に、よこはまボランティアポイントの登録研修会を実施しました。ケアプラザ自主事業でボランティア活動を始める方のほか、地域の一般の方にもケアプラザ新聞を通じて周知を行い、ボランティア活動や地域活動の参加のきっかけづくりを行いました。	6月29日 年1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
俺の講座	65歳以上の方を対象に、元気な男性高齢者の発掘と、閉じこもり予防や社会参加を促す男性講座を企画。女性と分けることで、これまで参加しにくいと思っていた講座に参加しやすくし、人材発掘に繋げる目的で開催しました。新しい人材発掘には至りませんでした。介護予防の取り組みについて学んでいただくことができました。	6月15日 7月14日 8月5日 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スローエアロビクス	65歳以上の方を対象に、老人会や元気づくりステーションなどの、地域の方や地域で活躍しているボランティアの方に、スローテンポののって行うスローエアロビクスを習得していただき、今後の活動に役立てていただくことを目的に講座を開催しました。シニアサポーターひまわりや、元気づくりステーション参加者も多く、今後の担い手となっていただけるよう繋げていきます。	9月21日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日常生活に困らない体づくり教室	南希望が丘地域ケアプラザから一番遠い地域のため、ケアプラザで行う講座にはなかなか参加できない中希望が丘地域の高齢者を対象に、「旭グリーンハイツ集会所」にて講座を開催しました。終了後は元気づくりステーションへ発展することを目標に準備を行い、終了時には自主化し元気づくりステーション「ホープの友」として立ち上げることができました。	9月30日 10月7日 10月14日 10月21日 10月28日 11月4日 年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ロコモ予防大作戦①、②in南希CP	65歳以上の方を対象に、ロコモ予防を運動機能、口腔機能向上、栄養改善の3つの視点からとらえ、まずご自身を知るところから始め、いくつになっても自立した生活が送れるよう取り組みました。運動でロコモ度チェックを行い、ご自身の体力を知ることができ、また栄養改善では調理を通して、日頃の食生活を振り返っていただくことができました。口腔機能としてはむせ予防を学び、いつまでも美味しく食事を摂れることを目指します。	6月27日 7月4日 3月16日 3月23日 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
老人会・長寿会健康チェック	長寿会会員の方を対象に健康チェックを開催しました。毎年実施している健康チェックですが、平成28年度は、コグニサイズを合わせて実施しました。笑いながら、間違いを直そうと努めることが認知症予防に有効だということをお話しし、意欲的に参加していただくことができました。	10月18日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
女性のための健康セミナー	65歳以上の女性の方を対象に実施しました。女性特有の尿漏れ防止のための「骨盤矯正体操」やお化粧品を活かしての介護予防「いきいき美容教室」、正しい呼吸を学ぶ「ピラティス」を実施しました。女性だけの教室のため、皆さんゆったりとリラックスしておこなうことが出来たと好評でした。	11月22日 12月13日 1月19日 年3回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミ・ディ	開所と共に始まり、今年度8年目を迎えた事業です。月に1回参加することで、高齢者の方の閉じこもりを防止し、仲間づくりの場所として提供するとともに、ハンドベル、歌、工作、脳トレ、運動会など、介護予防の要素を盛り込んで、普及啓発を行いました。	第2月曜日 10時～11時半 月1回（年11回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い	介護者の慰労、介護者同士の情報交換、自主活動へのきっかけづくりを目的とし、ケアプラザの協力医を交え、日頃の介護の苦労、悩みなど、分かち合い、また、ストレス発散の場も兼ね行いました。	第2水曜日 14時～15時半 奇数月（年6回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護保険制度講座～2016～	地域の方を対象に、介護保険制度の背景や仕組みと概要、改正後の内容や動向、今後の展望について介護保険制度の講座を開催し、普及啓発を行いました。	7月8日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症をみんなで支えるまちづくり検討会	認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して、地域住民、各関係団体が作る認知症啓発活動を支援するとともに、認知症で困っている人の暮らしを地域でどう支えていったらよいかを、地域の民生委員、老人会、ボランティア団体、地域のコミュニティカフェ等の関係者と話し合いを行いました。	7月29日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症になっても安心して暮らせるまち（きぼうタウン）をめざして	生活支援体制整備事業の目的である「高齢者一人ひとりができることを大切にしながら暮らし続けるために、多様な主体が連携・協力する地域づくり」を目指し、地域の方や地域の店舗に向け①「認知症予防講演会」「成年後見制度」②「家族の方の話」「認知症サポーター養成講座」③「認知症カフェについて」「SOSネットワーク」など認知症に対する理解を深めるための勉強会を開催するとともに、第2回、3回については認知症の方やその家族に対し地域で何が出来るかを考え、参加者が話し合えるグループワークを行いました。	①12月17日（土） ②1月29日（日） ③2月19日（日） 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きぼうタウンプロジェクト	「認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して」で話しあってきた、認知症の方やその家族に対し地域で出来る事を実現させるため、参加者から有志を募り、プロジェクトチームを発足しました。協議体として話し合いを重ね、認知症カフェや地域への認知症についての知識の啓発、認知症の方や家族へのサポートシステムなどの立ち上げを目指します。	3月8日（水） 年1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアサポーターひまわり	平成25年7月に発足し、引き続き今年度も地域活動の介護ボランティアの人員として幅広く活躍できるよう、また、自分たちの生きがいがづくりや地域の担い手なるよう、更なるスキルアップを目指し勉強会を開催しました。「元気づくりステーション」の活動支援に加え、デイサービス等にも出向き介護予防の普及啓発活動を行いました。	第2又は第3木曜日 10時～11時半 年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップリーダー講座	高齢者の社会参加による介護予防の推進を図れるよう地域の共助を高め、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを目指し、元気づくりステーションなどで行っているスクエアステップを地域に広める担い手として元気づくりステーションの会員や一般の方からリーダーを養成するための講座を開催（全5回）しました。また、自身の介護予防、生きがいになるよう、活躍の場づくりを行っていきます。	3月20日（月） 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
希望が丘地区ジュニアボランティア講座	認知症および高齢者についてを社会福祉士から小学生用のサポーター養成テキストを使用して話をしました。その後、車イス体験を2グループに分かれて行いました。最後にデイサービスの活動支援プログラムに参加しています。（8月に2回開催予定でしたが8月21日に関東地方に台風が直撃したため延期になり10月に開催しています。）	8月18日 8月15日 10 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護シリーズ 古い支度	権利擁護シリーズとして相続や終活、自分史などをテーマに「古い支度」について、4回にわたり地域住民を対象に普及啓発を行いました。1回目は「自分史活用」と題して、今までの人生を振り返っていきました。2回目以降は「相続」をテーマにエンディングノートを用いて、自分らしい生き方を元気なうちから考えていき、在宅サービスや施設サービスについても学んでいきました。また、お墓の事や遺言、相続についても考えていきました。	6月29日 8月26日 9月29日 10月27日 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護シリーズ 消費者生活講座	今回は旭区内12ヶアプラザ、旭区社会福祉協議会、旭区役所が合同にて消費者被害キャンペーンとして実施していききました。三ツ境駅と鶴ヶ峰駅の2か所にて横浜市消費生活総合センターの協賛のもと、あさひくんをゲストに被害にあわないように声をかけていきました。	3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護シリーズ 認知症について考える2016	認知症についていろいろな角度から理解を深めてもらうため、「認知症予防講演会」と「成年後見制度講座」を同時に開催し、「認知症になっても安心して暮らせる街」をテーマに、認知症の症状、早期発見の大切さ、認知症の方に対する声のかけ方や成年後見制度のしくみ、具体的な活用法など、認知症について広い視野で考えていきます。（認知症になっても安心して暮らせるまち（きぼうタウン）をめざしてと同時開催しています。）	12月17日 年1回 参加費 無料

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度講座	地域住民を対象に、年齢を重ねても安心して暮らしていけるよう、成年後見制度の普及啓発を行いました。権利擁護、成年後見制度の基礎知識、成年後見人としての実務など、わかりやすく解説しました。また、あんしんセンターの利用法などの内容などをもりこんだ講座を開催しました。	11月26日 年1回 参加費 無料

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	認知症の方が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、認知症の方や家族の理解者となる認知症サポーターを養成することを目的とし、認知症についてや認知症の方への接し方などを普及啓発していきました。講座は、地域住民対象のものを対象として行い、参加者にはオレンジリングを配布しました。認知症キャラバンメイト（旭区ひまわりの会）の方からお話をいただいています。	5月13日 2月7日 2月19日 (地域住民対象) 年3回 参加費 無料